

時間割コード	G1B20012	開講年度	2026				
授業題目	生活者の視点から考えるSDG s				担当教員	沖嶋 直子	
英文授業名	SDGs from the consumer's point of view					山岸 明浩・鶴田 順	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・2時限	対象学生	全
講義室	共通教育 1 2 講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	大学D P 学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				⇔	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力を充実させるために、以下の達成目標を定める。 ・SDGsの背景を理解し、その達成に向けて自主的かつ積極的に取り組むことができるようになる。 ・生活者の立場から自ら課題を設定し、課題に関する資料や文献の収集・分析ができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	SDGsの生まれたこれまでの歴史的な背景を踏まえ、自らの生活の中でSDGsとの関連を見つけ出すために、日常生活の様々な観点、家族・家庭、衣食住をはじめとする日常生活等の多角的側面からアプローチし、論理的な思考能力を高める。 本授業は、複数の教員（オムニバス）で実施する。						
(5)授業のキーワード	Sustainable Development Goals, 生活者, 家庭生活						
(6)授業計画	＊第1回から第15回の内容は、順序を入れ替えることがある。 また、授業はオンラインで行うこともある。 第 1回 ガイダンス・授業内容の背景（沖嶋） 第 2回 住宅の地域性と環境共生（山岸） 第 3回 暮らしのエネルギー（山岸） 第 4回 建築物のリサイクルと保存活用（山岸） 第 5回 海の生物資源の保全と持続的利用（鶴田） 第 6回 ファッションと持続可能性（ゲストティーチャー・遠隔） 第 7回 気候変動対策を衣生活から考える（ゲストティーチャー・遠隔） 第 8回 貧困と栄養（沖嶋） 第 9回 食品ロス（沖嶋） 第10回 フードマイレージと地産地消（沖嶋） 第11回 エコクッキング・食生活における容器包装プラスチックの削減（沖嶋） 第12回 海のプラスチックごみ問題（鶴田） 第13回 リスク論と予防原則（鶴田） 第14回 食品リスクと法（鶴田） 第15回 授業のまとめ、授業アンケートの実施（沖嶋）						
(7)成績評価の方法	・受講態度および討論への参加状況（20％）とレポートの内容（80％）から、総合的に評価する。評価方法の詳細は各授業時に説明する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可。						
(8)成績評価の基準	課題に関する調査内容や自らの考え、まとめに関するレポートは、調査内容にあった情報収集の適性やデータの信頼性、論理展開や課題意識の独創性などの観点から評価する。 評価の観点は、①設定の妥当性、②課題背景の把握、③先行研究成果の収集と把握、④オリジナルな考え方の提案、⑤教員を感心させる独創性とする。これらの観点の5つを満たしていれば、「卓越している」。4つならば「かなり上にある」。3つならば「やや上にある」。2つならば「水準にある」とする。						
(9)事前事後学習の内容	eALPSに授業内容にかかわる資料や課題等を掲載するので、各教員から指示された事前学習と受講後の事後学習に取り組み、講義に臨むこと。 この授業は90時間の学修を必要とする内容である。従って、60時間以上の時間外学習が必要となる。						
(10)履修上の注意	授業は、教育学部家庭科教育コース教員ならびにゲストティーチャーによるオムニバス形式で進める。授業担当者の都合により日程は前後することがある。初回授業日までに正式な日程を掲示するので、eALPSを見ておくこと。 成績判定は、主に各教員の課した課題等の内容を基に行うので、各教員の指示に従い、事後レポートの場合は期日までに作成して提出すること。 日々の生活において、普段から授業内容に関連する情報を検索、収集するなどして、自主的に学習し、学習内容の実践に努めること。 基本的に対面での実施が主体となるが、衣生活分野（第6, 7回を予定）は遠隔授業を予定している。主担当教員の指示に従い遠隔授業に入ること（指示に従わない場合は出席が認められないこともあるので、注意深く指示を聞き受講すること）						
(11)質問、相談への対応	質問、相談は主にメールで応じる。 山岸明浩 yamaaki@shinshu-u.ac.jp TEL026（238）4187						

(11)質問,相談への対応	沖嶋直子 okishima_naoko@shinshu-u.ac.jp TEL026 (238) 4186 鶴田順 jtsuruta@law.meijigakuin.ac.jp TEL03 (5421) 5585
(12)授業への出席	本授業は,「信州大学における授業の出席に関する要項」第4に規定する「学修の補充の対象とする事由」で欠席し,補充を受けた場合を除き,欠席回数が5回以上になると,授業の達成目標に到達することができないため単位が認定されません。 授業の出欠は,授業担当教員が課題の提出で確認します。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	「学修の補充の対象とする事由」により出席できない場合は,共通教育履修案内に掲載されている方法により補充を受けるための申請をおこなってください。 なお,「学修の補充の対象とする事由」に該当する場合であっても,長期入院等で複数回にわたり出席できず,10回以上対面授業に出席できない場合は,授業の達成目標に到達に至る教育の質を担保することができないため,単位認定はできません。
【教科書】	指定しない。
【参考書】	吉積巳貴ら著,シリーズ食を学ぶ SDGs時代の食・環境問題入門,ISBN978-4-8122-2103-7,昭和堂,2021年,2,600円+税 中西準子著,食のリスク学,ISBN978-4-525-58574-4,日本評論社,2010年,2,000円+税 その他は各担当者より授業中に提示する。